

農業経済学特論 I (2単位)

担当者氏名 金田憲和

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

世界の農業貿易についての経済学的分析のために必要な国際貿易理論を解説する。部分均衡分析および一般均衡分析の方法を取り扱う。本講義の到達目標は、農産物の貿易問題について経済理論に基づいた考え方を学び、学生自らも考察できるようになること、である。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

農業貿易貿易理論部分均衡分析リカード・モデルH0モデル

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	イントロダクション	全体の導入	配布された資料、および宿題について、各回1~2時間程度の予習・復習を行うこと。
2	部分均衡の概念	部分均衡の概念	
3	余剰分析の方法1	生産者余剰の概念	
4	余剰分析の方法2	消費者余剰の概念	
5	貿易政策1	IQ制度	
6	貿易政策2	関税政策	
7	貿易政策3	不足払い制度	
8	一般均衡の概念	一般均衡の概念	
9	リカード・モデル1	リカード・モデル	
10	リカード・モデル2	リカード・モデル	
11	H0モデル1	ヘクシャー・オリーン・モデル (H0モデル)	
12	H0モデル2	ヘクシャー・オリーン・モデル (H0モデル)	
13	その他のモデル1	他の貿易モデルについて説明する	
14	その他のモデル2	他の貿易モデルについて説明する	
15	まとめ	まとめ	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所(発行年)

プリントを配布する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所(発行年)

食料環境経済学を学ぶ/東京農大食料環境経済学科/筑波書房(2007)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

レポート1回30%、期末試験70%で評価。

◆オフィスアワー

毎週木曜日 13:00~14:30

◆その他受講上の注意事項

特になし。